

## 定時制卒業式

9月27日(水)、定時制前期卒業式が行われた。式には名護市座間味教育長、宮里 PTA 会長、諸喜田同窓会長、宮城後援会理事長、大城元校長の他、元職員や多数の同総会、後援会の役の方々に出席頂いた。

卒業式は、常に感動的なものだが、初めて参加した定時制の卒業式は、とても感動的でアットホームなものだった。特に、卒業生 6 名が一人一人が、卒業までの苦労や家族、先生方への感謝を涙を流しながら挨拶をした際は涙が流れた。6 名がそれぞれの道で活躍してくれる事を祈念している。事前指導、準備、運営にあたられた先生方に感謝！！



生徒会長・仲井間宗真くんの挨拶も素晴らしかったので読まれて下さい

### 送 辞

本日晴れて卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心からお祝い申し上げます。平成 29 年度前期卒業生は、6 名が、この北部農林高等学校定時制を巣立っていく事になります。私たち在校生にとっては、大変喜ばしい事でもあり、共に行事や部活を成功させてきた大事な仲間と離れることに、寂しさを感じる日 でもあります。

卒業生のみなさんとは、三大行事である、「農業祭」「体育祭」「学園祭」の他にも生産物即売会など、多くの行事で共に喜びを分かち合ってきました。先輩として率先して、私達を導き、その姿を見て、私たち在校生は励まされました。

また、部活動では野球、陸上、バレーなどでも全国大会出場を目指し、練習でもたくさん汗 を流してきました。結果が奮わないこともたくさんありまし





たが、結果だけにこだわらず、負けても楽しい部活になったのは、みなさんがいたからだと思います。

私が、生徒会長の重い役割に、押しつぶされそうになり、仕事に手が回らず困っているときも、いつも側に来て助けてくれ、気持ちを楽にしてもらいました。今振り返るとそんな一日一日が懐かしく感じます。

これまで過ごした学校生活では、多くの出会いや別れがありました。学校を去り、別の進路を選んだ人もいます。卒業するみなさんも、時には、朝早くから始まる仕事により、心身共に疲れ果て、夕方から始まる学校生活に、心が折れそうになったことは一度や二度ではなかったでしょう。授業に足が向かず、無断で欠席したり、授業を抜け出したりして、先生方に怒られたこともあったかもしれません。

しかし、今日という日を迎えられるのは、「絶対に卒業する」という強い信念を持ち、前向きに頑張ってきた日々があったからだと思います。

芽先輩は、アルバイトと学業を両立させるため、どんなに疲れていても、笑顔で絶えず私たちを和やかにさせてくれました。

成太先輩は、卒業後に備え、資格取得に励んで私たちの憧れでした。また、サッカー部でも上級生として後輩を引っ張ってくれました。

美架先輩は、仕事と子育てに追われる中、心折れることなく、定時制の生徒として、あるべき姿を私たちに示してくれました。

半田君は、私をサッカーに誘ってくれ、試合で「勝利」を味わうことはできなかったけれど、一緒にやってこれて良かったと思える時間を過ごさせてくれました。

海人君は、ムードメーカーとしてクラスを盛り上げてくれました。今では、海人君の声を聞かないと、クラスが盛り上がりません。

康太君は、何事にも文句一つ言わず、努力を続けてきました。その姿を見て、自分の事を振り返り、私も頑張ることができました。

みなさんが卒業するのは、寂しく感じますが、これからは、私たち在校生がこの北部農林高 校定時制を盛り上げていかなければなりません。

「井の中の蛙大海を知らず」ということわざがあります。私たちはまだまだ世間の荒波を知らないかもしれません。卒業し、先に社会の大海原に力強く出て行くみなさんのことを、私たち在校生は心から応援しています。この定時制で培った経験は、必ず力になるはずです。

最後になりますが、卒業なさるみなさんのご健康とご活躍を祈願し、餞の言葉といたします。

本日は卒業おめでとうございます。

平成 29 年 9 月 27 日 在校生代表 仲井間宗真

